



山梨県立

# 巨摩高等学校



所在地 〒400 - 0306 南アルプス市小笠原 1500-2

電話 055 - 282 - 1163

F A X 055 - 282 - 1104

U R L <http://www.ko.kai.ed.jp>E-mail [info@ko.kai.ed.jp](mailto:info@ko.kai.ed.jp)

創立 大正 11 年 9 月 21 日

課程 全日制 定時制

利用交通機関 山梨交通バス 十五所経由「戸田町」下車  
西野経由「巨摩高校」下車

教員数 43 名 (全日制) 6 名 (定時制)

生徒数 556 名 (全日制) 18 名 (定時制)

課程	1 年		2 年		3 年		4 年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
全日制	95	70	113	88	100	90		
定時制	0	1	3	2	2	5	4	1

## 〔校訓〕 進 修 実 践

### 〔教育目標〕

高い志と挑戦する気概を持ち、  
何事にも主体的に取り組む生徒を育成する

本校は、前身の巨摩高等女学校から 100 年の長い歴史と伝統を持った峡西南地域の名門校です。個性豊かな人材の育成を目指し、校訓である「**進修実践**」の下、誇り高い伝統を維持し現在に至っています。そして理数創造コースを中心に数理学活動が学校全体で推進し、課題探究力を持ち、新時代を切り拓いていける生徒の育成のため日々進化発展を続けています。また、ユネスコスクール加盟校として、ボランティア活動や海外研修を通して持続可能な社会のあり方について実践的に学ぶことができます。

### 〔教育方針〕

- ① 自ら学び、自ら考え、実践する「巨摩スタイル」を推進し、自主・自立の精神を養い、未来社会を切り拓くための資質・能力を育成する。
- ② 個に応じた進路指導の充実を目指すとともに、学力の定着に努め実力の向上を図る。
- ③ 部活動をはじめとする特別活動やボランティア活動のさらなる活性化を図り、コミュニケーション能力を培い、調和のとれた人格の育成に努める。
- ④ 生徒の一生懸命な取り組みを評価・支援し、誇りと感動をもって学校生活を営めるような指導に努める。

『巨摩スタイル』とは…、

あらゆる教育活動に取り組む際、受動的でなく、生徒が、**頭も心も積極的に自主的に**授業や諸活動に取り組み、「**活動することを通して、何かを創造する**」ことを目指します。

本校は、学校全体でこれからの時代が要請する力の獲得を目指し、ICT環境を整備し『巨摩スタイル』を推進しています。

### 〔クラス編成〕

“夢をかたちに”

普通科のみ設置ですが、生徒一人ひとりの夢の実現を目指した、柔軟なコース・クラス編成がされています。

教育目標の実現を目指し、その中心として各学年に**理数創造コース**が設置されています。

#### ★ 理数創造コース

理科や数学に興味を持ち、実験や演習を通して事象を論理的・科学的に捉えていきたいと考えている生徒に適しています。

#### 〔1 年次〕

普通クラス 4 (普通 3 + 習熟 1)、理数創造コース 1 の 5 クラスで編成されています。

基礎学力を身につけるために必修科目を中心に学習します。数学や英語では少人数学習を実施して学習効果をあげています。習熟クラスと**理数創造コース**では週 2 回の 7 校時授業がおこなわれています。

#### 〔2・3 年次〕

2 年進級時に、文系、理系、人文、理数創造コースの 4 つのコースを進路希望先に合わせて選択することが可能です。

○文系コース…文系大学・短大・専門学校・就職を希望する生徒。

○理系コース…理系大学・短大・看護医療系専門学校を希望する生徒。

○人文コース…文系国立大学・難関文系私立大学を希望する生徒。7 校時授業や、国語・英語の授業では理数創造コースとの合同授業がおこなわれます。

○理数創造コース…理系国立大学・難関理系私立大学を希望する生徒。7 校時授業や、発展応用的な内容の理数授業を通して科学技術の進展に対応できる、創造的な能力を高めていきます。

## 進路指導

自らを知り、社会を知り、自己の進路実現に向けて、高い志を持って主体的に挑む生徒を育成することを目標としています。本校生の95%が上級学校への進学を希望しており、1年次より、生徒の特性を考慮しながら、進路目標の設定とそれを可能にする学力の向上を目指したさまざまな進路指導を行っています。長期休業中や土曜日の課外講座・学習会、放課後の個別指導(教科・小論文・面接)、職業体験やインターンシップへの積極的な参加など、生徒個々の実態に合わせた指導が特徴です。また、総合的な探究の時間には、さまざまなデータや資料をもとに生徒自らが進路について考えたり調べたりする中で、自己の考えを表現したり発信することにも重点を置き、自分の生き方を考え、明確な進路目標を設定する機会を設けています。

### 進路決定数(令和5年3月卒業生)

#### ○国公立大学(36)：

山梨大(12) 山梨県立大(9) 都留文科大(2)  
北見工業大(2) 弘前大(1) 群馬大(1) 信州大(1)  
諏訪東京理科大(4) 静岡県立大(1) 他

#### ○私立大学(74)：

山梨学院大(16) 山梨英和大(3) 健康科学大(4)  
帝京科学大(3) 亜細亜大(1) 駒澤大(2) 神奈川大(5)  
専修大(3) 帝京大(1) 東海大(1) 東京電機大(1) 他

#### ○短期大学(12)：

大月短大(3) 山梨学院短大(7) 帝京学園短大(1) 他

#### ○専門学校等(59)：

県立産業技術短期大学校(3) 共立高等看護学院(6)  
帝京山梨看護専門学校(10) 甲府看護専門学校(2)  
山梨県歯科衛生専門学校(3) 甲府医療秘書学院(3)  
サンテクノカレッジ(4) 山梨県美容専門学校(3)  
大原学園専門学校甲府校(6) 他

#### ○就職(10)：

自衛隊(2) 山梨県警(2) 警察行政(1)  
南アルプス市消防(1) (株)オギノ(1)  
株式会社平山(1) ヤマダ電機株式会社(1)  
株式会社東タイ(1)

## 部活動

本校には、体育局16、文化局8、同好会2、委員会12があり、それぞれ活発に活動しています。陸上競技部男子、ホッケー部女子、弓道部男子は強化指定となっています。昨年度は、ホッケー部が全国大会でベスト8になり、メンバー2人が優秀選手に選ばれました。また、弓道部、陸上競技部も活躍しています。陸上競技部と弓道部男子は関東大会に出場しました。文化局では、吹奏楽部は西関東大会、音楽部は全国大会にそれぞれ出場経験があります。1月には文化部発表の場として「巨摩フェスタ」を実施し、地域の方々との交流を深めました。

## 国際理解教育・探究活動

姉妹校であるセントラルキャンパス校(アメリカ アイオワ州デモイン市)への海外研修や、同校からの留学生の受け入れを通して国際交流を実施しています。コロナ禍で近年は中止となっていますが、オンラインでの交流会や手紙のやり取りを実施し、国内での宿泊語学研修も実施しました。ユネスコスクール認定校としての交流プログラムに

参加する機会もあります。このほか、毎週1回本校ALTとの「English Club」の活動や、「国際理解の日」のイベントも行われています。また、「総合的な探究の時間」では、SDGsの視点で南アルプ市や国内外の諸問題について課題を設定し、その解決法を探る課題研究に取り組み、論理的な思考力や主体的な探究力の育成にも努めています。

### 充実した理数系教育 ～南アルプス地域の拠点校として～

南アルプス地域の拠点校として、未来を担う科学技術の人材育成を目指し、学校全体で、数理学活動を積極的に行っています。特に理数創造コースでは発展応用的な理数系授業を展開しており、山梨大学との高大連携講座では、最先端科学に関する講義や体験学習を行っています。また、エネルギー教育推進事業としての「黒部研修」「日本科学未来館研修」や、小中学生を招いての「わくわくアカデミーKOMA」「楡形山研修」を実施し、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の育成にも努めています。また、自然科学部を中心とした楡形山の環境調査も継続しています。

## 主な学校行事

- 5月 土曜講座開始
- 6月 白嶺祭(学園祭)
- 7月 三者懇談 楡形山研修
- 8月 夏季課外講座 オープンスクール
- 9月 体育祭、日本科学未来館研修
- 11月 修学旅行(沖縄県3泊4日)
- 12月 わくわくアカデミーKOMA 冬季課外講座
- 1月 巨摩フェスタ
- 2月 スキー教室
- 3月 春季講座 球技大会 米国研修



## 定時制 ～働きながら学ぶ～

働きながら学ぶ単位制の普通科高校で、生徒一人一人の個性を伸ばすことを目標にわかりやすい授業を心がけています。生徒は各事業所やアルバイト等で昼間働き、夜間勉学に励んでいます。

◇学習形態 SHRが午後5時40分に始まり、授業は午後9時まで4時限おこなわれます。修業年限は4年以上、卒業の認定には74単位以上の修得を必要とします。また、中央高校の通信制の併修で取得した単位を累積加算して3年間で卒業することもできます。

◇給食 夜間定時制のため給食を実施しています。

### ◇主な行事

文化的行事 新入生歓迎会、学園祭、教育祭(生活体験発表大会・音楽会等)、予餞会、校外見学会

体育的行事 総合体育大会(陸上競技、バドミントン、卓球)、学園祭(スポーツ大会)

YCC 県民文化ホールで開催された教育祭では生活体験発表大会の司会・運営を4年次中心に行いました。地域学習の一環として、切子・甲州風・防災立体模型・刻字の作成をし、切子は六角堂に奉納しました。